



第2回「ながさきサラ川」入選作決定！

長崎県内外から寄せられた440句の中から「第2回ながさきサラ川選考委員会」の審査によって選ばれた栄えある入選作品を発表いたします！！

今年のテーマ「イクボス」

最優秀賞

部下はおる 父は一人ぞ はよ帰れ

おーちゃんさん

審査委員会コメント



男性の家事・育児への参画の本質を理解している句と感じました。そう、「家族の代わり」は
いないのです。
この上司は「自分もやりたかったけどできなかった、そういう時代ではなかった。私のように
なるなよ」と部下に伝えたいのでしょうか。実は、こういう思いを持つ上司がイクボスになる
ケースは多いのです。今後増えるであろう**男性の育児休業に対する「ボスからの決めゼリフ**
ではないでしょうか。

こんなボスは嫌だ！部門 優秀賞

え～なんで 帰るまぎわの 打合せ

よっしーさん



まさにイクボスの基本ができていない「ボス中心のマネジメント」といったところでしょうか。
みなさんも「あー、あるある（笑）」といった情景が浮かぶのでは？
部下や同僚にはそれぞれのライフ（生活）があります。この方の上司は、そのライフを無視した
「**残業ありきのマネジメント**」の代表例です。部下やスタッフの勤務時間や予定などを把握
していれば、配慮できるはず。

こんなボスが理想！部門 優秀賞

イクボスも 家では別の ボスの部下

市川 酔歩さん



「イクボスも、場所が変われば同じ人」。そんな一言がよぎり、この上司の「家族との関係」
について、少しくすっと笑える情景が浮かびました。
詠み手により捉え方は様々と思いますが、この句で登場する上司は「家でも威張らない」「家
族を大切にしている人だろうな」と感じました。職場で威圧的・攻撃的な言動をする人は、家
庭でも同じ言動をとる傾向があり、モラハラなどといったハラスメントにもつながる可能性
があります。イクボスは**職場だけでなく、家族も笑顔にできるボス**でもあるのです。

※川柳、雅号は、すべて応募者の表記にしているため、一部当て字等での表記で掲載しています。
※作品の著作権は、すべて主催者側に帰属しています。無断での転載、使用はご遠慮ください。

お届けしたのは・・・



長崎県 県民生活部 男女参画・女性活躍推進室
〒850-8570 長崎市尾上町3-1
電話 095-822-4729



第一生命保険株式会社 長崎支社
〒850-0051 長崎市西坂町2-3 第一生命ビル4F
電話 095-823-8111

